

4. 一般廃棄物処理施設の整備状況

1. 一般廃棄物処理施設の概要（地方公共団体）

（1）ごみ焼却施設

ごみ焼却施設数（平成27年度稼働中）は17施設であり、燃焼方式別に見ると、24時間燃焼方式（全連続運転）が11施設、間欠燃焼方式（バッチ運転、准連続運転）が6施設である。また、処理能力規模別に見ると、100t／日以上が7施設、50～100t／日が6施設、50t／日未満が4施設となっている。

（2）粗大ごみ処理施設

粗大ごみ処理施設は、処理方式別に見ると、破碎が4施設、併用が3施設である。

* 併用…ごみの破碎及び圧縮を行う施設のこと

（3）資源化等の施設

資源化等の施設は、圧縮・梱包等を行う施設が14施設、その他（飼料化・燃料化）を行う施設が3施設ある。

（4）最終処分場

最終処分場（平成27年度稼働中）は20施設あり、残余容量が4,037千㎡となっている。

（5）し尿処理施設

し尿処理施設は、10施設である。

（6）コミュニティ・プラント

コミュニティ・プラントは、2施設であり、処理方式別に見ると、接触ばっ気、その他（OD方式）がそれぞれ1施設となっている。

2. 一般廃棄物処理施設整備状況概要一覧(平成27年度稼働中施設)

【焼却施設】

炉形式	施設数	処理方式	施設数	処理能力	施設数
全連続運転	12	ストーカ式	16	30t未満	3
				30t以上50t未満	1
准連続運転	3	流動床式	1	50t以上100t未満	6
				100t以上300t未満	4
バッチ運転	2			300t以上500t未満	1
				500t以上	2
合計					17

【粗大ごみ処理施設】

処理方式	施設数
破碎	4
圧縮	—
併用	3
合計	7

【資源化等の施設】

処理方式	施設数
圧縮・梱包等	14
ごみ飼料化	1
ごみ燃料化	2
合計	17

【最終処分場】(稼働施設) [容量の単位:m3]

埋立場所	施設数	残余容量
山間	19	3,967,596
平地	1	69,585
合計	20	4,037,181

【し尿処理施設】

処理方式	施設数
好気性	3
標準脱窒	3
高負荷脱窒	1
膜分離	1
その他	2
合計	10

* 複数の処理方式を持つ施設は「その他」としている。

【コミュニティ・プラント】

処理方式	施設数
接触ばっ気	1
長時間ばっ気	0
その他	1
合計	2